

情報の教養学講演シリーズ 第1回  
慶應義塾大学教養研究センター主催

# 歴史の転換期と 報道の使命

4・17

岸井成格

講師：岸井 成格 (毎日新聞社特別編集委員)

日時：4月17日(金) 16:30~18:00

場所：日吉キャンパス来往舎1階 シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員 (無料)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

今、世界も日本も「文明の岐路」に立つと言われるほど歴史の大きな転換期を迎えています。「イスラム国」(IS)など、テロ、武装勢力が「国家崩壊」の時代に増殖しています。世界の秩序に大きな異変、地殻変動が起きています。

一方、「環境問題」も年々深刻になっています。国連のIPCCは「今世紀末に人類は生存の危機に陥る可能性」を指摘、警告を発しています。

そうした激変する時代における報道の役割・使命とは何か！？をともに考えます。



毎日新聞社特別編集委員。前主筆、元論説委員長、政治部長、ワシントン特派員。TBSテレビ「サンデーモーニング」コメンテーター、「ニュース23」アンカー。1944年生まれ。

1967年慶應義塾大学法学部法律学科卒。同年、毎日新聞社入社(熊本支局)。1970年同社政治部。「環境省」名付け親の一人。



<http://ice.lib-arts.hc.keio.ac.jp>

@KeioLearning